



にこにこ組保
護者会

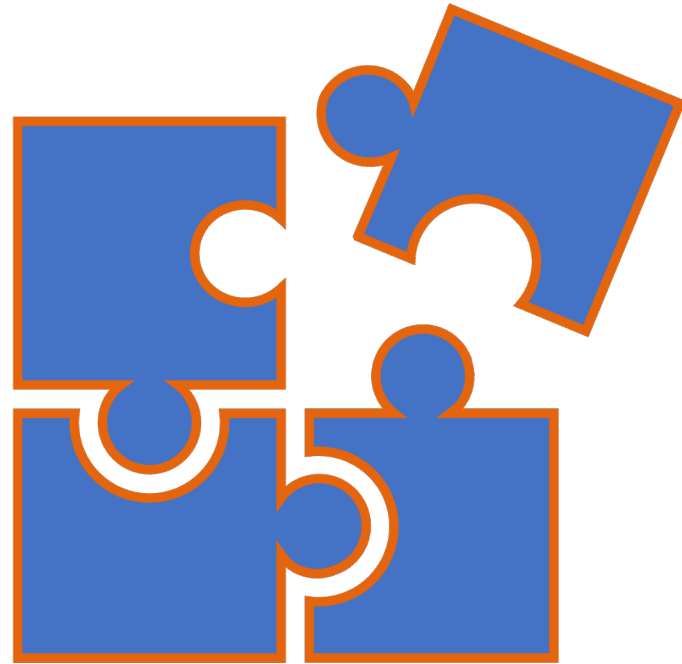
千代田せいが保育園

生活（外見的な）自立とは？

- 食事
 - 自分で「いただきます」をして食べ始める。
 - 食具（スプーンなど）を使って大体、食べこぼさずに食べる。
 - 自分の食べ切れる量がわかってくる。「ごちそうさまでした」。
- 睡眠
 - 自分でベッド（布団）に行って寝て、心地よく目覚める 24時間リズム
- 排泄
 - 排泄や排便のサインを覚え、トイレに行くまで我慢できる（脳と身体の繋がり・随意筋の発達）
- 衣服着脱
 - 服の脱ぎ着が自分でだいたいできる
- 清潔
 - 綺麗になることを感覚的に感情（好き）→意欲（やりたい）→習慣へ

遊び

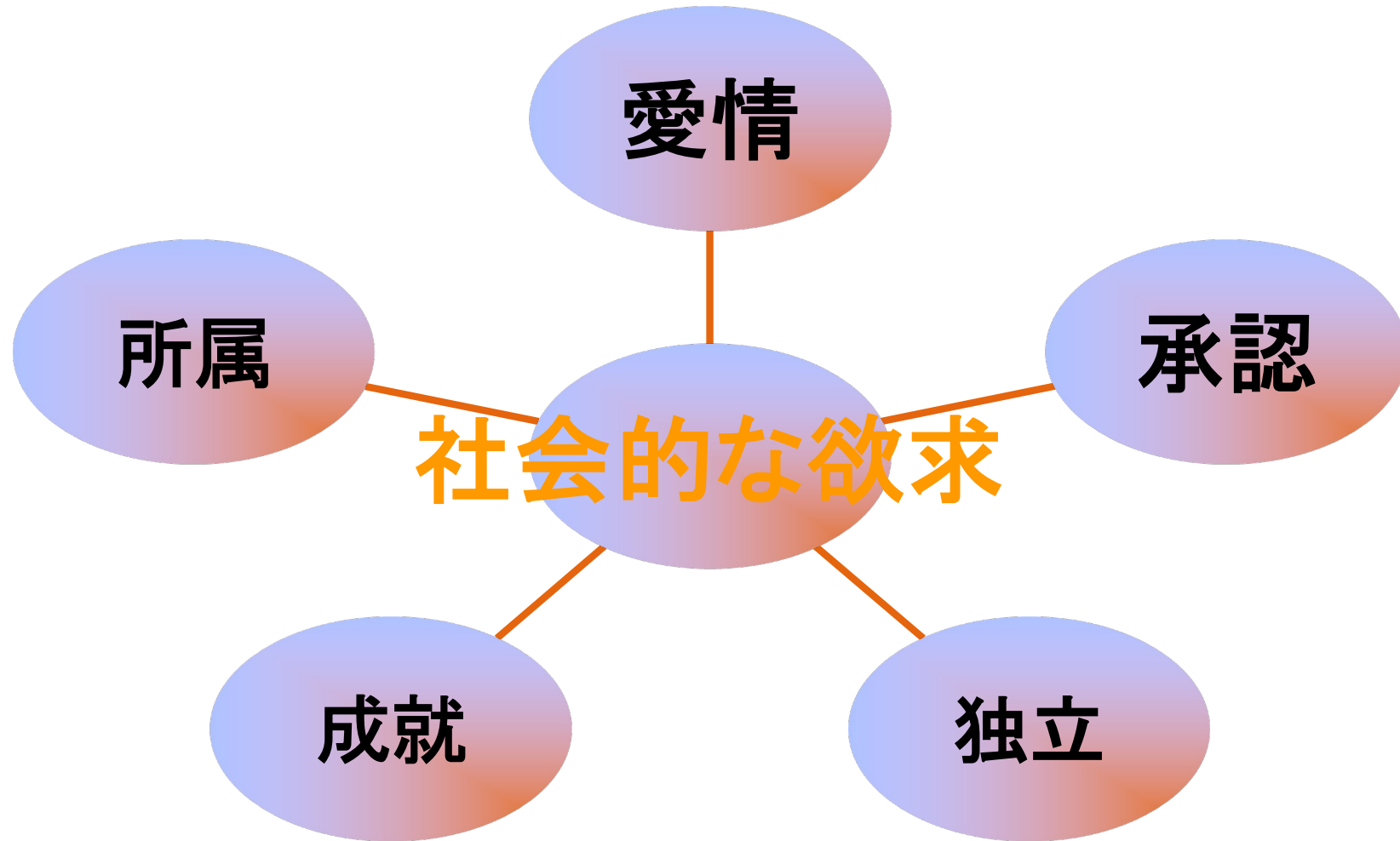
- 遊びの中の社会的欲求
 - テーブルでの遊び（パズル・絵本・お絵かき・・・）
 - 見立て遊び（ブロック・お話ごっこ・・・）
 - ままごと
 - ベランダ
 - お散歩・外遊び



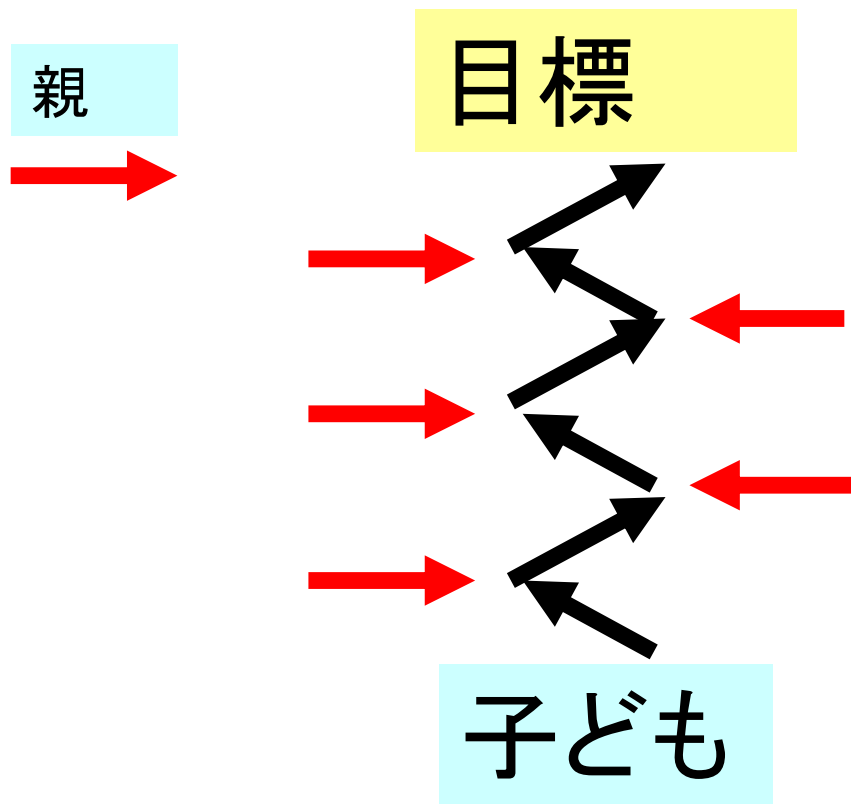
ここに
この遊
びの選
択



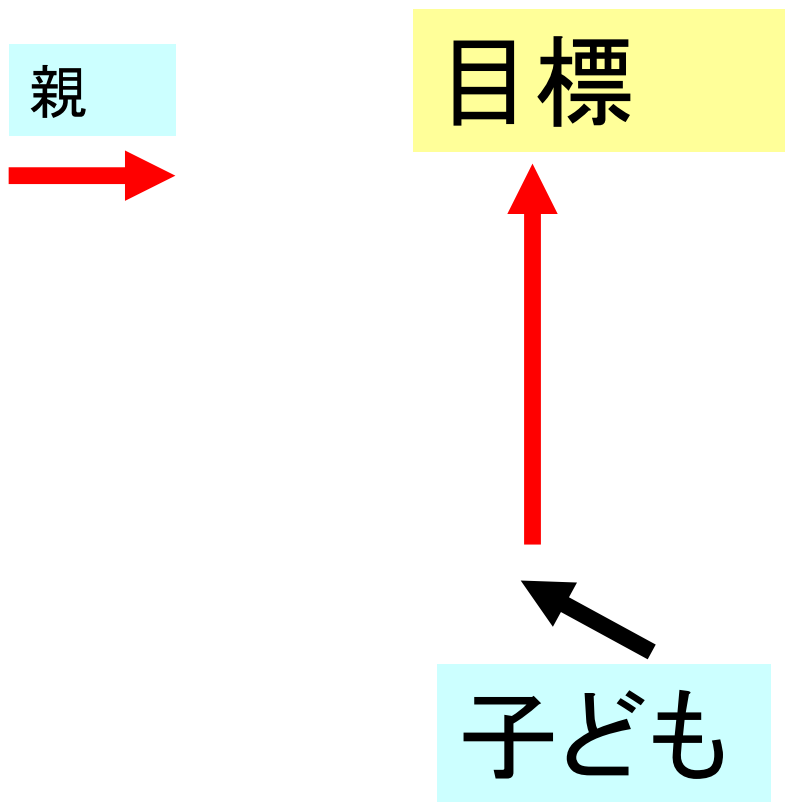
さまざまな欲求（2）



過干渉



過保護

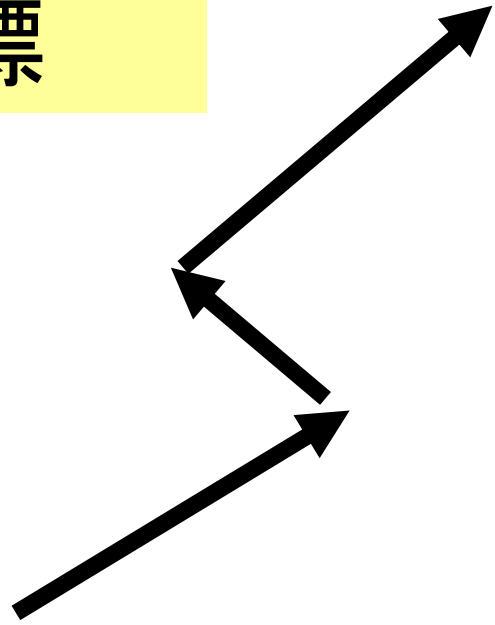


放任

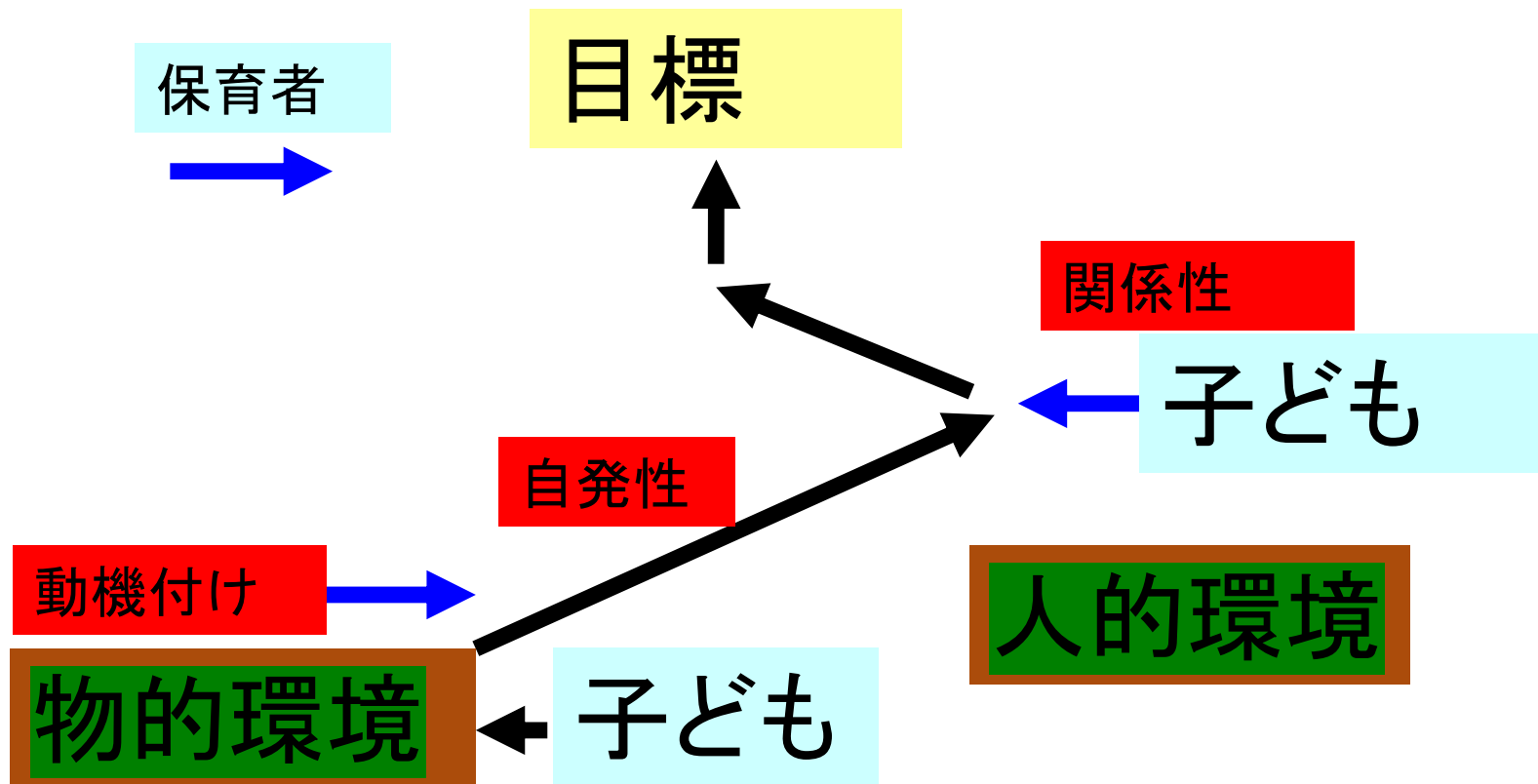
親
→

目標

子ども



適切な援助 (環境を通じた保育)



環境を通した保育

- 生活に必要な「資質・能力」などの獲得については、どちらかというとな大人に教えられたとおりに園児が覚えていくという側面が強調されることもあるが、乳幼児期には、子ども自身が自発的・能動的に環境と関わりながら、生活の中で状況と関連付けて身に付けていくことが重要である。
- したがって、生活に必要な能力や態度などの獲得のためには、遊びを中心とした生活の中で園児が自らの生活と関連付けながら、好奇心を抱くこと、あるいは必要感をもつことが重要である。